



発行所 財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 関山 巧  
定価 1部金44円  
題字 井戸知事

消さないで  
あなたの心の  
注意の火

# 「ひょうご消防のつどい」

## 二〇〇六」開催

十二月十九日(日)午後一時三〇分より、小野市民会館において「ひょうご消防のつどい二〇〇六」を開催しました。

このつどいは、永年にわたり消防業務に従事してきた消防職員・消防団員の功績を讃えた表彰を行うとともに、幹部の研修を行い、士気の高揚と知識・技術の研鑽を深めることを通じて消防人の

強固な団結と消防機関の連携体制を確立することを目的に開催されました。

当日は、開催地の団長でもある小林副会長の開会のことばに始まり、国歌吹奏、黙祷につき、

関山会長のあいさつ、知事式辞(代理東田防災監)、蓬萊小野市長の歓迎のことばのあと、知事表彰、知事感謝、消防協会長表彰が各団体、代表受領者に手渡されました。その後、来賓の方々より祝辞をいただき、受章者の代表として多可町消防団梶岡団長より謝辞が述べられ、第一部は終了しました。

そして第一部では、医学博士(循環器専門医)の富原均先生により、「『心臓』と『心』にやさしい地域づくり〜身近な防災〜」と題した講演をいただきました。

北播磨地域の中学校等で心肺蘇生法の普及に取り組まれる先生から、人の命を救うためには、正しい知識と声をかけ手をさしのべる「勇気」が大切、とのとても意義深いお話をいただきました。最後は次回開催地(中播磨地区)の梶原副会長の開会のことばで幕を閉じました。

第一部で行われた表彰は次のとおりです。

兵庫県知事表彰

神戸市兵庫消防団

○竿頭綬 姫路市飾磨消防団 西脇市消防団 宍粟市一宮消防団	○功労章 消防団員 消防職員	○永年勤続功労章 消防団員 消防職員	○表彰状	兵庫県知事感謝 永年勤続功労者賞	○家族の賞 消防団員 消防職員	○親子二代の賞 消防協力者賞 個人の部 事業所の部	○親子二代の賞 消防協力者賞 個人の部 事業所の部	○消防協力者賞 個人の部 事業所の部	○表彰旗 小野市消防団	○竿頭綬 川西市消防団 太子町消防団 洲本市消防団	○功績章 精績章 勤続章 精勤章	○家族の賞 (三〇年以上) (四〇年以上) (五〇年以上)	一七七名 二四名 二名	一三四名 一三二名 三三六名 四六〇名	二名 二名 五団体	二名	五三名 七八名 一八三名 一六名 六団体	二名 九〇七名 二〇二名 一〇四組	二名 五団体	五三名 七八名 一八三名 一六名 六団体
--	----------------------	--------------------------	------	---------------------	-----------------------	------------------------------------	------------------------------------	--------------------------	----------------	------------------------------------	---------------------------	--	-------------------	------------------------------	-----------------	----	----------------------------------	----------------------------	-----------	----------------------------------



# 平成十八年 秋の叙勲

平成十八年秋の叙勲が、十一月三日(文化の日)に発令されました。

消防関係の受章者は、全国で四五八名、うち兵庫県では、元消防団・職員十四名が栄誉に輝きました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災をはじめとする各種の災害から防護するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

伝達式は、十一月八日(水)十時〇五分から東京・虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホールで執り行われ、消防庁長官から各代表者に叙勲が伝達されました。

〈全国消防関係受章者数〉

瑞宝小綬章 十二名  
旭日双光章 三名  
瑞宝双光章 一〇四名  
瑞宝単光章 三三九名  
計 四五八名

〈兵庫県下受章者(消防功労)〉

◎瑞宝小綬章  
元神戸市 消防正監 芦田 章



◎瑞宝双光章  
元夢前町消防団 団長 田路 耕作



元宝塚市消防団 団長 塗家 啓二



元加古川市消防団 団長 花房 次郎



元加古川市 消防正監 宮井 勝康

◎瑞宝単光章  
元明石市消防団 副団長 池田 清隆



元神戸市西消防団 副団長 井上 喜之



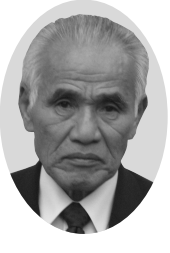
元西淡町消防団 団長 大谷 平



元赤穂市消防団 分団長 木津富士男



元豊岡市消防団 副団長 田口 義男



元西宮市消防団 副団長 田中 一郎



元芦屋市消防団 団長 谷口 孟



元篠山市消防団 団長 西嶋 忠一



元三田市消防団 副団長 森本 延吉



豊岡市竹野消防団

団長 山根 昌勝



豊岡市は、昨年四月に兵庫県  
の北東部に位置する北但一市五  
町が合併してできたまちで、消  
防団は多団制を採っています。

豊岡市竹野消防団は、昭和三  
〇年三月、旧四ヶ村が合併して  
竹野村消防団として誕生し、町  
制により竹野町消防団となり、  
昭和四八年一月に組織の再編が  
行われ、現在の六分団、一三部、  
定数三五八名の体制となりました。

私が消防団に入団したのは、  
昭和四四年一月、一五歳の時で、  
当時は地域の大人であれば誰も  
が当然のように消防団に入団し  
ており、消防団に入団すること  
でようやく地域の大人の一人と  
認められたような喜びすら感じ  
ながら、希望と気概を持って入

伊丹市消防団

副団長 久保 善一



伊丹市は、兵庫県の南東、大  
阪府に隣接し、猪名川と武庫川  
に挟まれた山も海もない、全域  
が市街化区域に指定されている  
地域にあります。

他の地域との違いは、何と言  
っても大阪国際空港を抱えてい  
る事ではないでしょうか。  
伊丹市消防団員は、いつもこ  
の事を忘れずに訓練に励み、有

団したことを覚えています。

竹野地域では、現在でも消防  
団がその集落にとって大変重要  
な存在であり、当然に入団すべ  
きものとの意識を持って入団し  
てくれる地域住民も多くありま  
すが、少子・高齢化の中で団員  
数は徐々に減少し、現在は三三  
八名となっています。

私は、平成三年に副団長、平  
成十二年に団長に就任しました  
が、中でも特に記憶に残ってい  
るのは、平成九年一月のロシア  
船籍「ナホトカ号」の沈没によ  
る重油流出事故への対応と、一  
昨年の台風二三号の襲来です。

重油流出事故はそれまで経験  
したことのない災害であり、真  
冬の荒波押し寄せる海岸線に漂  
着したおびただしい量の重油の  
回収を進めるため、団員には一  
般の方が近付き難い海岸線での  
作業従事を指示し、一日も早く  
美しい海岸の回復を願いながら、  
二次災害の無いよう団員の安全  
確保に腐心したものです。

また、台風二三号の際、竹野  
地域の中心を流れる竹野川の特  
性として、標高差九〇〇mを延

長二五kmで一気に流れるため、  
豪雨時には瞬く間に水位が上昇  
し、越水や内水氾濫により地域  
を分断されることから、いち早  
く体制を整えるよう指示し、団  
員には二日間にわたって人家や  
危険箇所への巡回、水防活動に従  
事させることとなりましたが、  
幸い竹野町は人的被害も無く、  
比較的被害の少ない方で、住民  
の消防団に対する期待に多少な  
りともお応え出来たものと考え  
ています。

竹野地域では、他にも日本海  
での海難事故への対応も必要で  
あり、また国民保護に関する対  
応など、住民の安全・安心を守  
るため、消防団に対する期待は  
ますます大きくなっています。

今後は、団員の日頃の訓練は  
もとより、地元自主防災組織と  
の連携をより密にしながら、住  
民と消防団が一体となって地域  
防災の向上に取り組み、市民誰  
もが「自分たちのまちは自分た  
ちで守る」という意識を常に持  
ってもらえるよう啓発に努めて  
いくことが重要な課題であると  
考えています。

市内の幼稚園の幼年消防クラ  
ブ員や、自主防災会等の方々にも  
御協力を頂いております。  
式典の後、消防職・団員に続  
き、自主防災会、最後にハッピ  
姿の幼年消防クラブ員が堂々の  
観閲行進を行います。

# 消 防 団 今 昔

事の際の出勤に備えていかなけ  
ればならないと考えています。

さて、伊丹市の消防出初式は、  
昭和四八年頃まで阪急伊丹駅に  
程近い、伊丹小学校の校庭等で  
行われていましたが、それ以降  
は昆陽池公園で行われています。

昆陽池は、以前は今よりもつ  
と大きな池でしたが、昭和三五  
年にその一部が埋め立てられ、  
昭和四八年には、鴨や白鳥と触  
れ合える場所として様々な広場  
や遊歩道を備えた、現在の公園  
として整備がなされました。

それ以来、貯水池の南側にあ  
る多目的広場で出初式が行われ  
るようになりました。  
伊丹市では、市民参加型の消  
防出初式として親しまれており、

# 地 区 通 信

## 「淡路地区消防操法大会を終えて」

淡路市消防団一宮地区

淡路市消防団は、昨年旧津名  
郡五町消防団が統合し、結団し  
ました。

淡路市消防団発足後、初めて  
の淡路地区消防操法大会が、七  
月二三日に洲本市の城戸アグリ  
公園で開催され、淡路市消防団  
の代表として、小型動力ポンプ  
の部に一宮地区山田分団が出場  
しました。現分団員においては、  
初めての体験でしたので、昨年  
八月から準備期間をとり、分団  
幹部会を開き、選手候補者の選  
出及び練習日程等を決めるとと  
もに、まず団員の意識を高める  
ことから取り組みました。市及  
び団、そして広域消防津名一宮  
分署の皆さんの理解と協力のも  
と、二月より練習を開始しまし

貯水池の東側に消防車両を並  
べ、池に向かって一斉に放水す  
るその光景は、消防職・団員の  
消防活動に対する強い意志を感  
じさせるものであり、圧巻です。  
私は、この式典や演技の会場  
と大きな池が隣接するという恵  
まれた環境の下で、今日の出初  
式が挙行出来る事を誇りに思っ  
ています。

た。

練習内容は、初期の各個訓練  
で基本動作の再確認及び習得、  
中期は各番員の動作の習得と連  
携、後期はタイムアップそして  
仕上げと計画しましたが、机上  
の計算通りにはいきません。選  
手たちの負担、体調、能力など  
選手格差が出てきます。そして、  
練習場所の不具に天候と色々問  
題もありました。

それでも日程通りに練習を続  
け、先へ先へと進みましたが、  
何時しか選手達、そして応援の  
団員にも「惰性」のような感が  
見え始め、不安と苛立ち、使命  
感とやる気の欠如、そんな空気

が流れました。中絶みだったの  
かもしれません。そんな中、他  
市消防団地区予選会の見学に行  
きました。選手達の自信喪失の  
不安はありました。レベルの差  
は明らかでしたから。

「いける。見学に参加した選手  
の言葉でした。強がりだったか  
もしれません。しかし、その日  
から選手達は変わりました。目  
標はつきりしたからです。そ  
して選手達の変化は、応援の団  
員達にも広がりました。

良い雰囲気最終盤の練習に入  
りました。選手達は練習日以外  
の日も自発的に自主練習を行い、  
その成果はタイムに現れました。  
そうなる選手は勿論、応援の  
団員にも力が入りました。この  
まま良い雰囲気大会に臨みた  
かったのですが、大きな問題が  
発生しました。それは、タイム  
アップのためポンプの性能を無  
視したレバー操作を無意識のう  
ちに行うようになってしまい、  
逆にタイムを遅らせることに。  
正直、指導する立場から見ても

りました。  
しかし、選手達は協力し、助  
け合い、克服してくれました。  
そして、七月二三日を迎えま  
した。

選手達にとって、初めての大会  
です。予期もしない敵があり  
ました。大会未経験のため、段  
取りが分からない。そして緊張  
の為、実力が出せませんでした。  
しかしながら今回の経験は、選  
手達には宝となりました。選手  
だけでなく、団員の意識向上と  
更なる結束が生まれました。

県大会出場は逃しましたが、  
新たな大きな絆を手に入れる  
ことが出来ました。



昭和30年代出初め式

平成18年出初め式



淡路市消防団



- ・操法最適ホース：コンベシシリーズ
- ・小型動力ポンプ：ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般

**西垣消防器具製作所**  
 669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置 461  
 TEL: (079)672-3131  
 FAX: (079)672-3132  
 E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



「初代加東市消防団長」

加東市消防団

吉田 繁 団長



加東市は、平成十八年三月二〇日、社町、滝野町、東条町が合併して、「山よし！技よし！」

「自然を愛する熱血団長」

姫路市夢前町消防団

栗林 忠道 団長



「夢のある町」姫路市夢前町は、市の北部に位置する播磨工業地帯の後背地であります。都市近郊型農村としての基盤づくりが進められ、養鶏をはじめ、酒米振興、資源活用型観光農業への移行、山林資源の活用、優良企業の誘致など、近代的な

わがまちの団長さん

139

文化よし！夢がきらめく☆元氣なまち 加東が誕生しました。兵庫県の中央部、やや南よりに位置し、東は篠山市、三田市、南は小野市、三木市、西は加西市、北は西脇市と接しており、総面積は一五・七・四九km²です。加東市消防団は、加東市誕生と同時に発足し、七五分団、団員数一、二六二名、車両七七台の体制で消防活動を行っています。

平成十一年に旧社町の団長に就任、加東市消防団発足とともに初代消防団長に就任されました。発足間もない新消防団の円滑な活動のため、隣接分団の出動体制の見直し、分団同士の連携を重視した実践的な訓練の実施、また、全国的に減少傾向である団員の確保に取り組みされています。災害時にはいち早く現場に駆けつけ、陣頭指揮をとられています。今年の春には、団員として永

年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与したとして、藍綬褒章を受章されています。受章を機に、より一層の情熱と高い志を持って、住民が安全安心に暮らせるよう消防団活動に邁進されています

まちづくりが推し進められてきました。名峰雪彦山や播磨富士と呼ばれる明神山、古くからひらけた塩田温泉など風光明媚な観光資源に恵まれ、国指定の本堂を含め、多くの重要文化財を所蔵する弥勒寺、国史跡の置塩城跡など貴重な歴史的文化遺産も数多く有しています。

夢前町消防団は昭和三八年に発足し、本年三月二七日の市町合併により一部、三八分団、総勢七五二人体制の姫路市夢前町消防団となり、新たな分団再編、組織の確立を目指しています。栗林団長は、大分県出身で、合併元年に夢前町消防団員の推

薦を受け、姫路市長から姫路市夢前町消防団長に任命されました。昭和五十一年に入団以来、約三〇年間、常に災害現場では先頭に立ち、縦横無尽に駆け回りながら陣頭指揮する姿はまさに、「熱血漢」の塊りで、「九州男児ここにあり！」というところがあります。

そんな団長のもう一つの顔は、自然とともに暮らすライフスタイルです。暇さえあれば、家庭菜園で野菜、果物を栽培し、休日には近所の住民を招待して栗拾い、取れたての野菜を使ったパーベキユー大会は大人気であります。夢前町の災害の特色は、林野

火災が多く、水利が不足しているため、可搬式ポンプを使って中継送水をする消火活動や、雪彦山における行方不明者の捜索活動に奔走することです。年中行事も盛り沢山で、夢前町消防団としても、町の祭りやマラソン大会の警備、山の遭難救助訓練に献身的に参加しています。

夢前町は、自然と温泉と歴史豊かな美しいまちです。四季折々の自然にふれて、身も心もリフレッシュしていただけますので、お近くにお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。



平成19年消防出初式日程表 (1月実施)

神戸地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月5日(金)	神戸市	10:00~11:30	メリケンパーク	同左

阪神地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月6日(土)	伊丹市	10:00~12:00	昆陽池公園多目的広場	スワンホール
1月7日(日)	尼崎市	10:00~12:00	尼崎市立中央中学校校庭	尼崎市立中央中学校体育館
	西宮市	9:30~11:00	武庫川河川敷公園	なるお文化ホール
1月14日(日)	川西市	8:30~11:30	川西市立川西北小学校、川西市文化会館	川西市文化会館
	芦屋市	10:00~11:15	芦屋市立精道小学校体育館	同左
	宝塚市	10:00~11:30	宝塚市立末広小学校体育館	同左
	猪名川町	9:30~	猪名川町文化体育館イナホール	同左

東播磨地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月7日(日)	明石市	9:45~12:00	明石市役所、明石市民会館大ホール	明石市民会館大ホール
	加古郡(稲美町・播磨町)	10:00~	稲美町立天満東小学校グラウンド	稲美町立天満東小学校体育館
1月14日(日)	加古川市	9:00~11:30	防災センター2階大会議室、センター西側河川敷	防災センター2階大会議室
	高砂市	9:30~11:30	高砂市総合運動公園・総合体育館	高砂市総合体育館

中播磨地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月7日(日)	姫路市	9:30~12:00	シロトピア記念公園	姫路市役所10階大会議室
	福崎町	9:30~12:00	福崎町立田原小学校グラウンド	福崎町立田原小学校体育館
1月14日(日)	市川町	8:00~12:00	市川町立川辺小学校グラウンド	市川町立川辺小学校体育館

西播磨地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月7日(日)	赤穂市	9:30~11:30	千種川河川敷公園	赤穂市民総合体育館
	太子町	9:30~	太子町民グラウンド	太子町立龍田小学校体育館
	上郡町	9:00~	上郡町役場前対岸親水広場	上郡町立上郡中学校体育館
1月14日(日)	相生市	9:30~11:00	那波中央公園	相生市市民会館大ホール
	たつの市	9:30~12:00	揖保川河川敷千鳥ヶ浜公園グラウンド	赤とんぼ文化ホール

但馬地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月6日(土)	豊岡市竹野	9:30~	豊岡市立竹野中学校	同左
1月7日(日)	豊岡市豊岡	9:00~	豊岡市民体育館、市営中央駐車場	同左
	豊岡市出石	9:30~	豊岡市立出石中学校	同左
1月8日(月)	豊岡市城崎	9:00~	豊岡市立城崎小学校・城崎総合支所	同左
	豊岡市但東	9:30~	豊岡市但東中央体育館及び但東総合支所	同左

丹波地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月7日(日)	篠山市	9:00~11:00	篠山城趾三の丸広場	篠山市民センター
	丹波市	8:00~10:00	春日体育センター	春日体育センター

淡路地区

実施日	団体名	時間	場所	雨天時会場
1月7日(日)	洲本市	9:00	洲本市文化体育館 しばえもん座:文化ホール	同左
	南あわじ市	9:30	南あわじ市健康広場グラウンド	南あわじ市健康広場体育館
	淡路市	10:00	淡路市立東浦中学校	淡路市立東浦中学校体育館

地区通信

初のボート訓練

西脇市消防団

西脇市消防団員が救助ボートの取扱い方法などを学ぶ水防訓練が平成十八年七月三日(日)、西脇市黒田庄町小苗の加古川河川敷に消防団員など約二〇〇名が参加し、台風シーズンに備えて訓練を行いました。

西脇市消防団は例年、春、秋の火災予防週間前に林野火災、建物火災を想定した合同訓練を実施していましたが、平成十七年十月の市町合併(西脇市、黒田庄町)に伴い、消防団も合併して新たな組織での西脇市消防団が発足、平成十八年度の当初に主要事業のひとつとして今回実施した水防訓練(ボート取扱い訓練)を事業計画に組み込まれた。

西脇市は、平成十六年十月の台風二三号で死者一名、床上浸水一、〇七六戸、床下浸水三二七戸など甚大な浸水被害を受けました。当時は浸水地域で住民、消防団、消防署のほか自衛隊、加東行政事務組合消防本部、姫路市消防局の応援を受け、救助活動を行いました。この災害を教訓に、西脇市が救助用ボートを購入しました。

ボートは、西脇市が一艇(船外機含む)、にしたか消防本部が二艇購入、また、平成十七年八月二十九日には西脇ロータリークラブからボート二艇(船外機一基含む)が西脇市に寄贈されました。

船外機付ボートを操縦するには免許が必要で、西脇市では消防団員、市民に広く呼びかけ、災害時にボートの操縦をしてい



訓練開始前の集合状況

ただける方を二名(平成十八年十月末現在)登録しています。今回実施した訓練は、ボートの取扱いが主なもので、四班に分かれ、にしたか消防本部職員からボートの組立て方、操作方法、安全管理などを各班教わりました。

また、西脇市には災害用としてエアートントが一基あり、訓練が始まると同時に役員で設営訓練を行いました。

ボートの組立てが終わると、実際にボートに乗り込み操作するとともに、操縦免許を取得している消防団員は、消防職員から船外機の取付け、操作方法を教わり、実際にボートを操縦しました。

訓練の最後には、消防職員が要救助者となり、各分団から選出された団員が二艇のボートに分かれ救助訓練を行いました。今回の訓練には西脇警察署から四名の方々が参加され、松本警備課長に訓練全体の講評をいただき訓練を終りました。



エアートント設営訓練



ボート組立て訓練



ボート取扱い訓練

北から南から

ハートあふれるまち神河町

神河町消防団

神河町は、平成十七年十一月七日に神崎町と大河内町が合併し、兵庫県のほぼ中央に位置するハート型のまちとして新しく誕生しました。

当町は豊かな自然や農産物、多数の観光資源、又文化・スポーツ施設を有するなど心の豊かさを育むための環境が充実しています。今回はこの自然豊かな神河町を紹介いたします。

まず、神河町最北端に「新田ふるさと村」があります。そば打ちやこんにやく作り体験ができ、キャンプはもちろんログハウス、コテージも完備されており、オートキャンプ場も併設されています。

次に、そこから十kmほど南へ下ったところには「グリーンエコー笠形」があります。施設入口周辺にはゆず栽培が行われており、柚子ジュース「ゆず太くん」をはじめ、ワイン「柚子のささやき」、柚子マーマレードなどの特産物も施設内で販売されています。また、三月末から五月末にかけては大小千匹の「鯉のぼり大遊泳」を楽しむことができます。さらに、施設内の登山道から登ることができ「笠形山」には「扁妙の滝」があり、厳冬の一月から二月にかけては凍結する滝としても知られています。

さらに、神河町には西日本有数のスキの高原「砥峰高原」があります。ここは約九〇haにもおよぶスキの大草原が広がっており、春には草原に火が放たれる「砥峰高原山焼き」が有

名で、その光景はとても壮観であり、草原を焼き尽くすことで新芽の育成を促し、美しい草原が守られています。その大草原に隣接して「とのみね自然交流館」が新しく完成、展望テラスからの眺めも最高です。

皆様も機会がありましたら神河町へ一度お越しください。ハートいっぱいでおもてなしいたします。

さて、神河町消防団は、今年四月一日に神崎町消防団と大河内町消防団の統合により発足しました。雄大な自然を有する当町は、山林火災など様々な自然災害を想定しなければならず、新入団員幹部訓練から年三回の非常呼集訓練とプロック訓練、月二回程度の分団による定期訓練、月四回の防火広報、そして操法訓練など、非常時における対応が迅速かつ正確にできるような訓練を重ねております。この

ような中、今年十月十九日に兵庫県立広域防災センターにおいて開催された第二〇回全国消防操法大会の小型ポンプの部で兵庫県代表として作畑分団が出場し、準優勝という素晴らしい成績を収めることができました。



扁妙(へんみょう)の滝



砥峰(とのみね)高原



第20回全国消防操法大会

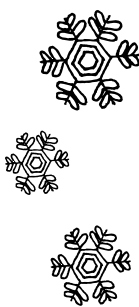
ご支援、ご声援をいただきました関係者の皆様、また県下各消防団長様はじめ消防団員の皆様ありがとうございました。これを励みに今後益々神河町の安全、安心の町づくりのため、訓練を重ねてまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻のほどお願いいたします。

編集後記

クリスマスも間近に迫り、今年も余すところわずかとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号ではひょうご消防のついで二〇〇六、秋の叙勲、そして平成十九年消防出初式日程表を掲載しております。また、消防団今昔には豊岡市竹野消防団長山根昌勝さん、伊丹市消防団副団長久保善一さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

年末警戒などで忙しい日々を送られていると思いますが、くれぐれも体調を崩さないよう、気をつけ下さい。



兵庫県消防協会 ホームページアドレス



「こんにちは!ひょうごの消防団です」 http://www.hyogoshoubou.jp/